

# 日本語学習熱 「世界一」は豪州

## 日本企業で活躍 ■岐阜弁直し講師に

世界で日本語学習が最も盛んな国は？ 答えは、中国でも韓国でもなく、オーストラリア。日本語のスピーチコンテストも「世界最古級」で、全国大会は今年、50回目の節目を迎えた。(シドニー・小暮哲夫)



1971年の第2回大会に参加したクリストファー・ネイラーさん



1976年の第7回大会に参加したロビン・スペンス・ブラウンさん

### 50年続く弁論大会

「日本では丁寧さの戦いが存在します。戦場はコンビニでした。店の人はいつも私より丁寧でした」。10月12日にシドニーであった全豪日本語弁論大会。高校の部で優勝したキャサリン・リュウさん(17)は、「丁寧戦争」と題して日本に3週間留学したときの体験を話し、聴衆約1000人の笑いを誘った。

「いろはにほへとちりぬるを。いろは歌をご存じでしょうか」と話し始めたのは、一般の部で優勝した大學生のアムリット・クンバールさん(19)だ。「人生は悩み続けるにはほかない。だからこそ、楽しく、正しく、自由に生きよう」という意味を表しています。す

らすらと話した。日本語学習者の励みに、国際交流基金と在豪日本大使館が主催する大会は今回、各地の予選を勝ち抜いた計15人が参加した。同基金によると、豪州では、1969年にシドニーとメルボルンで弁論大会が始まり、70年に初の全国大会が開かれた。太平洋戦争で敵国だった日本との経済関係が強まり、日本航空が羽田-シドニー便を69年に就航させたことも契機だった。世界の日本語弁論大会では、シンガポールと並んで最も長い歴史がある。

歴代の参加者たちは大会の後、日豪の関係を深める役割を果たしてきた。クリストファー・ネイラ

ーさん(68)は第2回大会に参加した。当時は大学で日本語を学び始めて2年目。5位で、もっと日本語を学ばないとの思いを強めた。卒業後の74、75年に、早稲田大や国学院大で日本や中国の古典を学んだ。

留学中に「ほかにはない経験だった」と振り返るのは、日本企業2社で英語の講師をしたことだ。プリチストンでは、石油危機直後に石油の確保に奔走する国際部門の社員を教えた。東洋水産では、食品工学の英語論文を読む必要があった。同社はカップ麺の生産を始めたころだった。帰国後は富士通の現地法人に入社。コンピューター

を売り込むため、日本語で書かれた様々な説明書の英訳を担当した。そもそもコンピューターとは何なのか。用意されたビデオで学びながら、「中央処理装置」を「CPU」、「端末」を「ターミナル」などとパズルを解くように翻訳を続けた。同社は豪政府からの受注に成功。弁論大会はその後のキャリアの基盤になった。

ロビン・スペンス・ブラウンさん(62)は高校卒業後に1年間、岐阜県の高校に交換留学。帰国後に大学で日本語を専攻し、第7回大会に出た。長良川の鵜飼いを見た思い出を話し、優勝した。「日本人の先生に岐阜弁を標準語に直してもらい、練習した」。卒業後、それまでは日本人が務めていた出身大学の日本語講師に、卒業生として初めて採用された。今は、豪州の日本語教育の第一人者だ。

### アニメや食に関心政府も奨励

同基金の調べでは、豪州の日本語学習者数(2015年度)は約35万7千人。中国、インドネシア、韓国に次ぐ4位だが、人口10万人あたりなら1491人で1位だ。18年度の速報値では40万5千人と増えた。

豪州での外国語教育は小学校から始まる。各校が選んだ複数の外国語の中から、生徒が選ぶ仕組みだ。教科書は必ずしも使われず、教師が独自に教材を用意するのが普通だ。同基金

シドニーのあるニューサウスウェールズ州では、「日本語上級」を選んだ高校生の共通卒業テストの指定教材が、14、19年は映画「おくりびと」の脚本だった。来年はアニメ映画「君の名は。」の脚本が使われる予定だという。

シドニーのあるニューサウスウェールズ州では、「日本語上級」を選んだ高校生の共通卒業テストの指定教材が、14、19年は映画「おくりびと」の脚本だった。来年はアニメ映画「君の名は。」の脚本が使われる予定だという。

最大の貿易相手国が07年に日本から中国に変わり、対中関係が強まっている。だが、日本語は外国語として学校で最も学ばれている。

アニメや食など、日本文化への関心が強いからだ。中国系の生徒が多いため、中国語を学んでも入試や就職で有利にならないことも背景にあるとされる。



国・地域別の日本語学習者数	2018年度	人口10万人あたり(15年度)
① 中国	1004625	69
② インドネシア	706603	289
③ 韓国	531511	1106
④ オーストラリア	405175	1491
⑤ タイ	184962	256
⑥ ベトナム	174461	69
⑦ 台湾	170159	941
⑧ 米国	166565	53
⑨ フィリピン	51892	50
⑩ マレーシア	39247	110

国際交流基金調べ。18年度は速報値

今年で50回目を迎えた全豪日本語弁論大会。計360人ほどが参加した地方大会を勝ち抜いた15人が参加した。10月12日、シドニー、小暮哲夫撮影。国際交流基金シドニー日本文化センターがつくった絵本教材「がんばれオージーの山!」。相撲部屋の1日を題材に基本表現が学べる内容だ。